

化学物質等安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称： アロンブルコートA-400ベース
 会社名： 東亜合成株式会社
 住所： 東京都港区西新橋1-14-1
 担当部門： 機能化学品事業部 建材・土木グループ
 電話番号： 03-3597-7341
 F A X 番号： 03-3597-7353
 緊急連絡先の電話番号： 052-611-9801（名古屋工場 環境保安室 保安グループ）
 推奨用途及び使用上の制限： 本物質は業務用（工業用）で主な用途は塗料用樹脂です。食品用・医療用および農薬用その他特殊用途に使用される場合には、貴社にて事前に安全性をご確認の上、ご使用下さい。体内に埋植注入したり、または体内に本製品の一部が残留する恐れのある用途には使用しないで下さい。

2. 危険有害性の要約

重要危険有害性及び影響 危険有害性の分類；GHS分類基準に該当しない。

特有の危険有害性

物理的及び化学的危険性： 該当なし
 人の健康に対する有害性： 該当なし
 環境汚染性： 情報なし

【GHS分類】

物理化学的危険性

火薬類	: 分類対象外
可燃性・引火性ガス	: 分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	: 分類対象外
支燃性・酸化性ガス	: 分類対象外
高压ガス	: 分類対象外
引火性液体	: 区分外
可燃性固体	: 分類対象外
自己反応性化学品	: 分類対象外
自然発火性液体	: 区分外
自然発火性固体	: 分類対象外
自己発熱性化学品	: 分類できない
水反応可燃性化学品	: 分類対象外
酸化性液体	: 分類対象外
酸化性固体	: 分類対象外
有機過酸化物	: 分類対象外
金属腐食性物質	: 分類できない

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	: 分類できない
急性毒性（経皮）	: 分類できない
急性毒性（吸入：ガス）	: 分類対象外
急性毒性（吸入：蒸気）	: 分類できない
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	: 分類対象外（粉じん）、

急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	: 分類できない（ミスト）
皮膚腐食性・刺激性	: 分類できない
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 分類できない
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	: 分類できない
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	: 分類できない
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない

環境に対する有害性

水生環境急性有害性	: 分類できない
水生環境慢性有害性	: 分類できない

【GHSラベル要素】

注意喚起語:

該当するGHSラベル要素はない。

危険有害性情報:

該当する注意喚起語はない。

注意書き:

該当する危険有害性情報はない。

【安全対策】

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

個人用保護具や換気装置を使用し、暴露を避けること。

保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。

取扱い後はよく手を洗うこと。

環境への放出を避けること。

【救急処置】 「4. 応急措置」を参照

【保管】 「7. 取り扱い及び保管上の注意」と同じ

【廃棄】 「13. 廃棄上の注意」と同じ

国/地域情報:

「15. 適用法令」を参照

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名 : アクリル酸系重合体

成分および含有量 : 下表参照

化学式または構造式 : 下表参照

官報公示整理番号 : 下表参照

CAS No. : 下表参照

分類に寄与する不純物及び安定化添加物 : 情報なし

成分名	重量%	化学式	官報整理番号	CAS NO	備考
アクリル酸系 重合体 (固形分)	56.0-58.0	非公開	収載済み	企業秘	
水	42.0-44.0	H ₂ O	対象外	7732-18-5	
合計	100				

4. 応急措置

吸入した場合:

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合：	気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。 汚染された衣類を脱ぐこと。皮膚を速やかに洗浄すること。 多量の水と石鹼で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。 汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
目に入った場合：	水で数分間、注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用 して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合：	口をすすぐこと。 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
予想される急性症状及び遅発性症状：	情報なし
最も重要な兆候及び症状：	情報なし

5. 火災時の措置

消火剤：	小火災：	二酸化炭素、粉末消火剤、散水、耐アルコール性泡消火剤
	大火災：	散水、噴霧水、耐アルコール性泡消火剤
使ってはならない消火剤：		情報なし
特有の危険有害性：		火災により有毒なガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法：		散水以外の消火剤で消火の効果がでない大きな火災の場合は散水する。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火を行う者の保護：		消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：	漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 作業者は適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。 適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。 風上に留まる。低地から離れる。密閉された場所に立入る前に換気する。
環境に対する注意事項：	河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。 環境中に放出してはならない。
回収、中和：	少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。 大量の場合、盛土で囲って流出を防止し安全な場所に導いて回収する。
封じ込め及び浄化の方法・機材：	危険でなければ漏れを止める。 漏出物を取扱うとき用いる全ての設備は接地する。
二次災害の防止策：	すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱

- 技術的対策： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 局所排気・全体換気： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。
- 安全取扱い注意事項： すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。
接触、吸入又は飲み込まないこと。眼に入れないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
環境への放出を避けること。
- 接触回避： 「10. 安定性及び反応性」を参照。

保管

- 技術的対策： 保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。
- 保管条件： 容器は直射日光や火気を避けること。
容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。
- 混触危険物質： 「10. 安定性及び反応性」を参照。
- 容器包装材料： ステンレス又はポリエチレン容器に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策： この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行なうこと。
- 暴露限界値： 情報なし
- 保護具
- 呼吸器の保護具： 火災時の消火の場合、空気呼吸器
- 手の保護具： 合成ゴム手袋
- 眼の保護具： 保護眼鏡（側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）
- 皮膚及び身体の保護具： 保護服
- 衛生対策： 取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状態、形状、色など： 乳白色液体¹⁾
- pH： 4.5-6.5¹⁾
- 融点・凝固点： データなし
- 沸点、初留点及び沸騰範囲： データなし
- 引火点： 不燃性¹⁾
- 爆発範囲： 下限 不燃性、上限 不燃性¹⁾
- 蒸気圧： データなし
- 蒸気密度（空気 = 1）： データなし
- 比重（密度）： 1.02 (25°C)¹⁾
- 溶解度： 水に対する溶解性 不溶¹⁾
- オクタノール/水分配係数： データなし
- 自然発火温度： データなし
- 分解温度： データなし
- 臭いのしきい（閾）値： データなし

蒸発速度（酢酸ブチル = 1）：データなし
燃焼性（固体、ガス）：該当しない
粘度：20~200 mPa・s (25°C)¹⁾

10. 安定性及び反応性

安定性：通常の取扱いにおいては安定である
危険有害反応可能性：情報なし
避けるべき条件：情報なし
混触危険物質：情報なし
危険有害な分解生成物：情報なし

11. 有害性情報

急性毒性：情報なし
皮膚腐食性・刺激性：情報なし
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性：情報なし
呼吸器感作性：情報なし
皮膚感作性：情報なし
生殖細胞変異原性：情報なし
発がん性の分類：情報なし
生殖毒性：情報なし
特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)：情報なし
特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)：情報なし
吸引性呼吸器有害性：情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性：情報なし
残留性・分解性：情報なし
生体蓄積性：情報なし
土壤中の移動性：情報なし
他の有害影響：情報なし
環境基準：情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装：容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制：該当せず
国内規制：該当せず
特別の安全対策：転倒もしくは破損しないように積載すること。
輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法：	施行令別表第一危険物に該当しない 名称等を表示すべき有害物に該当しない（第57条、施行令第18条） 名称等を通知すべき有害物に該当しない （第57条の2、施行令第18条の2）
労働基準法：	第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2に該当しない。
消防法：	非危険物（法第2条第7項）
化審法：	既存化学物質 化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）：第1種指定化学物質、第2種指定化学物質に該当しない（第2条、施行令別表第1、別表第2）
毒劇物取締法：	毒物、劇物に該当しない（第2条別表第一、別表第二、別表第三）
港則法：	危険物に該当しない （第20条第2項、施行規則第12条、危規則第2条危険物）
船舶安全法：	危険物引火性液体に該当しない（危規則第2条危険物）
航空法：	危険物引火性液体に該当しない（第86条第1項、施行規則第194条）
大気汚染防止法：	揮発性有機化合物に該当しない（第2条第4項）
高圧ガス保安法：	高圧ガスに該当しない（第2条）
外国為替及び外国貿易管理法：	輸出令別表第1の16項（キャッチオール規制）
水質汚濁防止法：	施行令第2条の「アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物」に該当する。 第3条の「生物化学的酸素要求量及び化学的酸素要求量」、「窒素またはりんの含有量」に該当する。
下水道法：	施行令第9条の四の物質に該当しない
火薬類取締法：	火薬類に該当しない（第2条1項）
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）：	産業廃棄物（施行令第2条）
土壤汚染対策法：	第2条第1項、施行令第1条の特定有害物質に該当しない
特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律（オゾン層保護法）：	施行令別表の物質に該当しない
悪臭防止法：	施行令第1条の特定悪臭物質に該当しない

16. その他の情報

参考文献

1) 東亜合成(株)測定データ

記載内容の取扱い

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。
また、注意事項は通常取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。

以上

化学物質等安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称： アロンブルコートA-400セッター
 会社名： 東亜合成株式会社
 住所： 東京都港区西新橋1-14-1
 担当部門： アクリル事業部 建材・土木グループ
 電話番号： 03-3597-7341
 F A X 番号： 03-3597-7353
 緊急連絡先の電話番号： 052-611-9801（名古屋工場 環境保安室 保安グループ）
 推奨用途及び使用上の制限： 本物質は業務用（工業用）で主な用途は塗料用樹脂です。食品用・医療用および農薬用その他特殊用途に使用される場合には、貴社にて事前に安全性をご確認の上、ご使用下さい。体内に埋植注入したり、または体内に本製品の一部が残留する恐れのある用途には使用しないで下さい。

2. 危険有害性の要約

重要危険有害性及び影響 危険有害性の分類；GHS分類基準に該当する。

特有の危険有害性

物理的及び化学的危険性：該当なし

人の健康に対する有害性：長期間にわたり多量に吸入すると肺に障害を起こすことがある。
 水と接触するとアルカリ性を呈し、皮膚・眼などに刺激がある。
 発がん性の疑いのある物質をわずかに含む。

環境汚染性：該当なし

【GHS分類】

物理化学的危険性

火薬類	: 分類対象外
可燃性・引火性ガス	: 分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	: 分類対象外
支燃性・酸化性ガス	: 分類対象外
高压ガス	: 分類対象外
引火性液体	: 分類対象外
可燃性固体	: 分類できない
自己反応性化学品	: 分類対象外
自然発火性液体	: 分類対象外
自然発火性固体	: 分類できない
自己発熱性化学品	: 分類できない
水反応可燃性化学品	: 分類対象外
酸化性液体	: 分類対象外
酸化性固体	: 分類できない
有機過酸化物	: 分類対象外
金属腐食性物質	: 分類できない

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	: 分類できない
急性毒性（経皮）	: 分類できない
急性毒性（吸入：ガス）	: 分類対象外

急性毒性（吸入：蒸気）：分類対象外
 急性毒性（吸入：粉じん）：分類できない
 急性毒性（吸入：ミスト）：分類対象外
 皮膚腐食性・刺激性：分類できない
 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性：区分1
 呼吸器感作性：分類できない
 皮膚感作性：分類できない
 生殖細胞変異原性：分類できない
 発がん性：区分1A
 生殖毒性：分類できない
 特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）：分類できない
 特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）：区分2
 吸引性呼吸器有害性：分類できない

環境に対する有害性

水生環境急性有害性：分類できない
 水生環境慢性有害性：分類できない

【GHSラベル要素】



注意喚起語：

危険

危険有害性情報：

発ガンのおそれ

重篤な目の損傷

長期にわたるまたは反復ばく露による肺の障害のおそれ

注意書き：

【安全対策】

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

個人用保護具や換気装置を使用し、暴露を避けること。

保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。

取扱い後はよく手を洗うこと。

本来の用途以外に使用しないこと。

この製品を使用するときに、喫煙・飲食をしないこと。

【救急処置】 「4. 応急措置」を参照

【保管】 「7. 取り扱い及び保管上の注意」と同じ

【廃棄】 「13. 廃棄上の注意」と同じ

国/地域情報：

「15. 適用法令」を参照

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名：無機質水硬性粉末

成分および含有量：下表参照

化学式または構造式：下表参照

官報公示整理番号：下表参照

CAS No.：下表参照

成分名	重量%	化学式	官報整理番号	CAS NO	備考
無機質水硬性粉末	100.00	企業秘		企業秘	
合計	100				

分類に寄与する不純物及び安定化添加物：鉱油（1%以下）

4. 応急措置

- 吸入した場合：** 被災者を新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
- 皮膚に付着した場合：** 汚染された衣類を脱ぎ、皮膚を速やかに洗浄すること。
多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
- 目に入った場合：** 水で数分間、注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
目の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合：** 口をすすぐこと。医師の指示がない限り吐かせてはならない。
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
- 予想される急性症状及び遅発性症状： 情報なし
最も重要な兆候及び症状： 情報なし

5. 火災時の措置

- 消火剤：** 水・ドライケミカルなど周囲の火災状況に適した消火剤を使用し、注水時の飛散防止に配慮する。
- 使ってはならない消火剤：** とくにない
- 特有の危険有害性：** とくにない。
- 特有の消火方法：** 散水によって火災が広がるおそれがある場合には散水以外の適切な消火剤を利用する。
- 消火を行う者の保護：** 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：**
漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
関係者以外の立入りを禁止する。
作業者は適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。
- 環境に対する注意事項：** 河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。
- 回収、中和：** 掃きとる、真空中で吸い取るなど、できるだけ粉じんが飛散しない方法で空容器に回収する。風下で作業しない。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材：**
危険でなければ漏れを止める。
- 二次災害の防止策：** 粉じんが飛散しないように注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱**

- 技術的対策：** 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 局所排気・全体換気：** 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。
- 安全取扱い注意事項：** すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱

いをしてはならない。
 取扱い後はよく手を洗うこと。
 「10. 安定性及び反応性」を参照。

接触回避：

保管

技術的対策： 保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とし、施錠して保管すること。

保管条件： 容器は直射日光や火気を避けること。
 吸湿性があるので、地面に直置きしないこと。湿気の少ないところに保管する。

混触危険物質： 「10. 安定性及び反応性」を参照。

容器包装材料： クラフト紙袋

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策： 空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行なうこと。

暴露限界値：管理濃度：1.90mg/m³（労働安全衛生法 2007）

許容濃度：吸入性粉じん 1mg/m³

総粉じん 4mg/m³（日本産業衛生学会 2007）

保護具

呼吸器の保護具： 防塵マスク

手の保護具： 合成ゴム手袋

眼の保護具： 保護眼鏡（側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）

皮膚及び身体の保護具： 保護服

衛生対策： 取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など： 灰白色粉末

pH： データなし

融点・凝固点： 1350℃⁽¹⁾

沸点、初留点及び沸騰範囲： データなし

引火点： データなし

爆発範囲： データなし

蒸気圧： データなし

蒸気密度（空気 = 1）： データなし

比重（密度）： かさ比重 0.88⁽¹⁾

溶解度： データなし

オクタノール/水分配係数： データなし

自然発火温度： データなし

分解温度： データなし

臭いのしきい（閾）値： データなし

蒸発速度（酢酸ブチル = 1）： データなし

燃焼性（固体、ガス）： 該当しない

粘度： 該当しない

10. 安定性及び反応性

安定性： 通常取扱いにおいては安定である

危険有害反応可能性： 強酸・フッ化水素と反応するおそれあり

避けるべき条件： 水との接触

混触危険物質： 強酸・フッ化水素

危険有害な分解生成物： 情報なし

1 1. 有害性情報

急性毒性：	情報なし
皮膚腐食性・刺激性：	情報なし
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性：	pH12～13を呈する成分を1%以上含むため区分1とした ^(II)
呼吸器感作性：	情報なし
皮膚感作性：	情報なし
生殖細胞変異原性：	情報なし
発がん性の分類：	発ガンのおそれがある物質を0.1%以上含むため区分1Aとした ^(II)
生殖毒性：	情報なし
特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)：	情報なし
特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)：	該当する成分を1%以上含むため区分2とした ^(II)
吸引性呼吸器有害性：	情報なし

1 2. 環境影響情報

生態毒性：	情報なし
残留性・分解性：	情報なし
生体蓄積性：	情報なし
土壌中の移動性：	情報なし
他の有害影響：	情報なし
環境基準：	情報なし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：	<p>廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。</p>
汚染容器及び包装：	<p>容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。</p>

1 4. 輸送上の注意

国際規制：	該当しない
国内規制：	該当しない
特別の安全対策：	<p>水濡れ、破袋に注意すること。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。</p>

1 5. 適用法令

労働安全衛生法：	<p>該当しない（施行令別表第一危険物） 名称等を表示すべき有害物に該当しない（第57条、施行令第18条） 名称等を通知すべき有害物： 鉱油 (第57条の2、施行令第18条の2)</p>
労働基準法：	粉じん障害防止規則・じん肺法：該当する 該当しない（第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2）
消防法：	非危険物（法第2条第7項）
化審法：	既存化学物質
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）：	該当しない（第2条、施行令別表第1、別表第2）

毒劇物取締法：	毒物、劇物に該当しない（第2条別表第一、別表第二、別表第三）
港則法：	該当しない（第20条第2項、施行規則第12条、危規則第2条危険物）
船舶安全法：	該当しない（危規則第2条危険物）
航空法：	該当しない（第86条第1項、施行規則第194条）
大気汚染防止法：	該当しない（第2条第4項）
高圧ガス保安法：	該当しない（第2条）
外国為替及び外国貿易管理法：	輸出令別表第1の16項（キャッチオール規制）
水質汚濁防止法：	該当しない。
下水道法：	該当しない（施行令第9条の四）
火薬類取締法：	該当しない（第2条1項）
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）：	産業廃棄物（施行令第2条）
土壌汚染対策法：	該当しない（第2条第1項、施行令第1条の特定有害物質）
特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律（オゾン層保護法）：	該当しない（施行令別表）
悪臭防止法：	該当しない（施行令第1条の特定悪臭物質）

16. その他の情報

参考文献

- (I) 社内データ
- (II) 原料メーカーMSDS

記載内容の取扱い

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。

以上
